

「キャンプ・シュワブ陸上案」に断固抗議！ 普天間基地は無条件即刻撤去を！

●沖縄の民意は示された！

先月 24 日の沖縄県名護市の市長選で、「辺野古に新基地は作らせない！」と訴えた稲嶺氏が勝利しました。名護市民は、1997 年に住民投票で「新基地建設反対」を表明してから 13 年、ついに市長選でも新基地反対の民意が勝利をしました。昨年の衆院選でも、沖縄選挙区全てで辺野古への新基地建設反対を訴えた候補が当選しており、沖縄県民の普天間基地撤去、新基地建設反対の民意がはっきりと示されています。



↑写真：1 月 30 日 日比谷野外音楽堂に全国から 6000 人が集まり、普天間基地撤去、新基地建設反対の声を上げた。

●政府の裏切り——基地内なら「沖縄県外」?!

最近の報道で、政府は、国民新党が主張する米海兵隊基地キャンプ・シュワブ（名護市）内の陸上に、普天間基地の代替施設を建設する案を真剣に検討していることがわかってきました。

名護市民の民意を受けた稲嶺市長は、「海にも陸にも造らせない！」と政府の態度を批判しているのですが、北沢防衛相は会見で「基地の中へ移転するんだから」と“何が悪いんだ！文句を言うな！”と言わんばかりの発言をし、「真剣に検討する」と言っています。鳩山首相もキャンプ・シュワブ陸上案について「検討する価値がある」などと発言しています。

●沖縄民主党の意見も無視——平野官房長官

2 月 20 日の平野官房長官の沖縄訪問にあわせて、民主党の沖縄県連が申し入れた意見交換は拒絶されています。県連が「あらゆる県内移設に反対する」と決めたからです。名護市長選結果を「斟酌する理由はない」と言っただけの人間です、民意無視を決め込んでいます。

●米軍基地は、沖縄にも神奈川にもどこにもいらない！

私たちは、このような政府の裏切りに断固抗議の声を上げたいと考えます。政府がやるべきことは、日本の沖縄の民意に従って、新基地計画・代替施設の画策はやめ、普天間基地の即刻・無条件の撤去を米政府に迫ることです。

米軍基地は、沖縄にも神奈川にも、日本中どこにもいらない！声を大きく上げて、政府に迫っていきましょう！（2010.02.20）

緊急街頭署名にご協力をお願いします！

緊急署名 **沖縄の民意に応えてください**

辺野古への基地建設断念と普天間基地の無条件返還を求めます！

鳩山総理大臣宛に、緊急の署名行動が提起されています。以下の3項目を要請する署名です。是非ご協力をお願いします。

1. 今こそ、沖縄の民意を最優先してください。
2. 名護市辺野古への「移設計画」を断念してください。
3. 普天間基地の無条件返還を実現してください。

日米安保の「密約」がまたひとつ明るみに！ 「密約」安保はもういらない！

陸上自衛隊と米軍が共同使用している東富士演習場（静岡県）について、米軍が年間270日の優先使用権を持つことを示す記載が1970年の米議会議事録で見つけられました。このような「密約」の存在がこれまでも疑われて来ていましたが、これまで政府はこれを否定していました。

この分だと、日本中の自衛隊基地や港湾などで、同様の「密約」があり、米軍が戦争遂行のために我がもの顔で使うことが出来る様になっているのではないかと疑われます。

こんな「密約」安保なんかもういらない！米軍基地は撤去して市民の手に！と声を上げていきたいと考えます。

キャンプ座間で米軍再編＝強化・恒久化が進んでいます 米軍基地の整理・縮小・返還・撤去の声を、 沖縄と共に上げていきましょう！

日米両政府が18日、日米合同委員会を開き、米陸軍キャンプ座間と、相模原住宅地区で計画されている3施設の移設について合意したと発表しました。これは、米軍再編計画で2012年までにキャンプ座間に移駐すると計画されている陸自中央即応集団司令部の移駐場所の準備作業であって、キャンプ座間では米軍再編が着々と進められているということです。

私たちは、陸上自衛隊が米陸軍と一体となって海外で戦争をすること、そのための司令部がキャンプ座間に来ることに反対です。私たちの街からも、沖縄県民と同じように、米軍基地の撤去や、強化・恒久化に反対の声を大きく上げて行きましょう！

(2010.02.20)